

2023 年12 月21 日

各位

三 洋 貿 易 株 式 会 社
取締役社長 新谷正伸

取締役会の実効性に関する自己評価結果

当社では取締役会の実効性評価のためのアンケート調査を実施致しました。
その分析結果の概要につき下記の通りお知らせ致します。

記

1. アンケートの実施要領

対象者：取締役10 名（内社外取締役4 名（内監査等委員2 名））

方式：記名式アンケート

各設問に対する選択及び自由記述

実施期間：2023年12月7日～12月15日

アンケート項目：①取締役会の構成

②取締役会の運営

③経営全般に関する実効性

2. 分析・評価の結果

① 取締役会の構成

当社取締役会の人数、構成、社外取締役の人数・割合および監査等委員の人数・割合は概ね適切であり、経営上の重要な意思決定および業務執行の監査・監督を適性に行うための体制は整っている事を確認致しました。

② 取締役会の運営

取締役会資料の内容や量、追加の情報提供の機会の確保、審議時間、上程議案数や議案の選定、議長の議事進行、事務局の運営などは概ね適切であり、取締役会では社外取締役（監査等委員を含む）も含めて自由闊達な意見交換が行われていることを確認致しました。

一方、取締役会資料の提供時期については、取締役会前に議案の内容を把握する時間が不足しているため、早期提供すべきであるとの意見が複数の取締役から寄せられました。

③ 経営全般に関する実効性

経営戦略の方向性、経営計画の策定等の検討が、概ね適切に行われていることを確認致しました。また、取締役の各種研修の機会の提供、内部監査室との連携、取締役間の意思の疎通および情報管理等についても同様に、特段の問題はない事を確認しております。

3. 昨年度課題への対応状況

昨年度、課題としていました投資対象（事業）に対するモニタリング強化に関しましては、過去の投資先に対して取締役会で実施した投資効果の検証結果や責任者へのヒアリング結果をもとに、特定の事業投資先においては事業フォローアップのためのアクションプランを策定し、実行しました。今後も引き続き、モニタリングの結果を踏まえ、投資対象の収益力向上に向けた取り組みを継続してまいります。

また、同じく課題としていました開示情報の充実への取り組みに関しましては、2023年11月のコーポレートブランド刷新に伴い、当社ホームページをリニューアルし、掲載情報の視認性・検索性を向上させました。ESGをはじめとした非財務情報については開示が限定的であるため、今後取り組みを強化してまいります。

4. 今後の課題

上記分析・評価の結果、当社取締役会は概ね適切に行われているものと認識しておりますが、より実効性の高い取締役会とするため、以下につきまして検討し、改善を図ってまいります。

- * 取締役会資料提供時期の早期化
- * 開示情報の充実への取り組み（継続検討）

以上